

AP

100 Years and Beyond

COMMUNICATION

株式会社アピックス 社外報



特集

2022 春季インターンシップ

令和四年
2022 May

Vol. **45**

「足元のSDGsを探そう」 志プロジェクトの取り組み

将来世代が考える、持続可能な社会とは

第一営業部 志プロジェクト事務局 船津 寛子

「志プロジェクト」は金融機関、大学、企業が手を組み、地域に根差した産学連携による人材育成を目的としたプロジェクトです。当社は参加企業兼事務局として、大阪経済大学様と協力し本プロジェクトの運営を行ってまいりました。依然として続くコロナ禍において、人と人とのつながりのあり方が問い直され、企業の社会的責任もより強く求められるようになっていきました。そこで当プロジェクトも未来を見据えた活動を目指し、今年度は「足元のSDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) を探そう」をテーマに、地域企業がどのような形で持続可能な社会づくりに貢献しているのか学生が調べ、新たに活動の提案を行いました。対面でのコミュニケーションがままならない中ではありましたが、オンラインでの社長インタビューやリモートでの工場見学等を活用させていただきながら、3月18日にオンラインにて成果報告会が執り行われました。



SDGsという言葉自体はとても身近なものになりましたが、テーマとしては非常に難しいものだったと感じています。SDGsに対する企業の姿勢や取り組み方は千差万別です。意識的に取り組み、企業価値を高める活動としてアピールしているケースもあれば、特に意識せず取り組んできた活動が実は持続可能な社会に貢献していたというケースもあります。それらを企業へのインタビューの中から発見し、掘り下げ、学生目線での新たな提案をするというのは、SDGsと企業双方への深い理解が必要です。学生もその点ではかなり苦労したようですが、成果報告ではどの企業チームからも新たな活動や広報の提案がありました。中には実際にWebページの案や動画を作成したチームもあり、実りある報告会となりました。SDGsは2030年を年限とした開発目標ですが、今私達の取り組んでいる企業活動が本当に社会を持続可能なものにし得る活動だったかを評価するのは、私達ではなく彼ら将来世代です。持続可能な社会とは何か、私達の活動は本当に将来に向けられたものなのか、あらためて「足元」を見直す機会となりました。



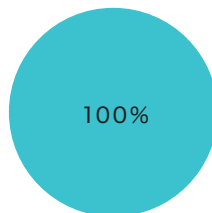
成果報告会の様子を大阪経済大学様のウェブサイトへ掲載頂いております。ぜひ、ご覧ください。▲

アンケート結果

Q1 志プロジェクトの総合的な満足度はいかがでしたか？

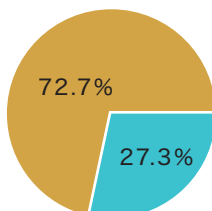
A 企業さまの声

- とても良かった
- 良かった
- 普通
- あまり良くなかった
- 悪かった



学生の声

- とても良かった
- 良かった
- 普通
- あまり良くなかった
- 悪かった



Q2 プロジェクトに参加して良かったことは、どのようなことですか？具体的な感想やエピソードをお聞かせください。

A 企業さまの声

- ・ 学生世代のリアルな声、会社への印象、考え方を聞いて参考になりました。(千房HD様)
- ・ 改めてSDGsの勉強ができた。学生さんからの提案がよかった。(日本電気化学工業様)
- ・ 学生の皆さんの志向がよく理解できました。SDGsに関して改めて弊社が取り組むべき方向がよく理解できました。(日本鏡板工業様)

学生の声

- ・ 損得勘定よりも善悪勘定という考えにとってもびっくりした。
- ・ 企業様と直接関わりを持たせていただける機会、ましてや社長様とお話が出来る機会というものはいインターンシップや就活の過程でも体験できるものではないので良かったと思います。
- ・ 企業やSDGs、取り組みについても深く知り、考えることができて大変勉強になりました。

2022年『SUCCESS-Osaka』 インターンシップ

若い力の可能性と重要性を感じました

管理部 Success-Osaka事務局 芝崎 友香

今年は【複写・印刷業からBPOサービス業へ「100 Years and Beyond」～企業のDXにより「BPOサービス」は加速するか～】をテーマに中国・韓国・ベトナム・オーストラリア出身の6名の学生のかたに参加いただき、2月28日～3月11日（10日間）昨年と同様最終日の成果発表会以外はオンラインで実施いたしました。1日約1時間半の弊社の各部門インタビューを行ったのですが、短い時間の中で一生懸命話を聴いて理解しようとし、日本語での質問・ディスカッションもしっかりされていた学生の姿には感心するばかりです。今回は事前に「日本の職場環境（企業文化）」について知りたい」との要望をいただいております、実際参加いただいた皆さまはこれから日本で仕事をする事を考え、日本を知ろう



とする姿勢や日本の企業に合わせた働き方についても考えてくれている事を感じ嬉しくなりました。最終日の成果発表会は3名1チームのチーム制で行い、2チームで違った

切り口のものになっていましたが、両チーム共しっかり部門インタビューを聴き更に自分たちでも色々と調べ勉強をしてまとめた事が分かる発表となっていました。今回のテーマで自分自身の身近なところでもDX化が進んでいる事に気付き、発表を聞いて勉強になる事も多々あり、また学生だからこそその固定観念にとられない発想や若いからこそ出てくる発想などが盛り込まれており、私たちの凝り固まった頭に刺激を与えてくれました。

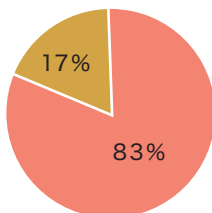


これから事業を継続していく上で、経験を積んだ熟練の人の知識や技術はもちろん大切ですが、若い人の力も必要である事を改めて感じたインターンシップとなりました。学生の皆さまにとってもアピックスでのインターンシップが今後の人生において少しでも役に立ってくれればと願っています。そして今後の活躍に期待しております。

アンケート結果

Q1 アピックスのインターンシップを友人や後輩に薦めたいですか？

- A
- 積極的に薦めたい
 - 薦めたい
 - どちらとも言えない
 - 薦めたくない
 - あまり薦めたくない



Q2 当社の印象を教えてください。

- A
- ・社風がいいです。
 - ・社員間の交流が活発。
 - ・説明が留学生のために分かりやすくなっていました。
 - ・グローバル化しており留学生に対してとてもすぐ親切でした。

Q3 今後、当社が成長するために改善が必要だと感じたことを教えてください。

- A
- ・時代が進んでおり1つの業界に専念しすぎるとリスク対応には良くないと思いました。他業界もしくは関連業界に進出すれば、もっと生き残るにも良い点ではないかと思いました。
 - ・ターゲットをもっと拡大すれば良いと思います。



研修の様子



インターンシップとSDGs

代表取締役社長 河村 武敏



2022年度入社式

「志プロジェクト」は、地域に根差した産学連携による人材育成を目的に、5年前から金融機関と金融機関のお客様である中小企業にご協力頂き約3カ月間のインターンシップとして取り組んできました。当初は学生が社長に直接インタビューを行い会社概要制作を最終目的としましたが、今年から「足元のSDGsを探そう」をテーマに、学生目線で各企業のSDGsの取組を取材し発表するというタイムリーなテーマとして取組を行いました。「継続は力なり」ということで、来年からは授業に組み込まれる予定で発展が楽しみです。「SUCCESS-Osaka」は関西大学国際部が事務局を務める関西4大学の留学生就職促進プログラムで、今年が国の委託事業としては5年目の節目の最終年度にあたります。

こちらは「企業のDXは、BPOサービス業に追い風になるか?」をテーマに、12月に留学生たちとオンラインで60分のディスカッション、3月に10日間のハイブリッド形式でインターンシップを行い、最終日に成果発表会を大阪本社で開催しました。おかげさまで昨年このプログラムに参加した学生が、この4月に当社に新入社員で入社されました。やはり継続は力です。アフターコロナに向け、「大阪・関西万博2025」プロジェクト、2030年までの国際目標としての「SDGs」など、企業に問われるCSRの観点からも、人材採用・人材育成として、このインターンシップ活動を継続しようと考えています。



最後にはありますが、今年も弊社のISO活動の一環として「顧客満足度調査」を実施いたしております。お手数ではございますが、下記QRコードよりアクセス頂き率直なご意見をお聞かせ下さいませようご協力よろしくお願いいたします。



アンケートはこちらから

顧客満足度調査アンケートのご協力をお願いします

「お客様の声」は、継続的にサービス品質を向上していく上で重要な指標です。ご多忙の折、恐れ入りますがアンケートを通じてお叱り・ご要望・お褒めの言葉などお聞かせいただけますと幸いです。



<https://questant.jp/q/apix2022>

新入社員のご紹介

千里の道も一歩から

今年は故郷から離れた11年目です。この11年間、知識の無限性と時間の有限性をしみじみと感じました。「千里への道」は大学院時代、うちの研究科の訓示です。大きなことを成し遂げるには、手近なところから着実に始めていくことが肝要であることのたとえです。今はまだ即戦力になれないですが、必ず一歩一歩着実に未来への道を探します。この遠い旅で、皆様よりしくお願い申し上げます。

じょ えき
徐 懔



株式会社アピックス

本 社 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2
TEL:06-6271-7291 FAX:06-6271-7296

東京支店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14 OZAWAビル3F E-mail info@apix.co.jp
TEL:03-5879-7291 FAX:03-5879-7296 URL <http://www.apix.co.jp>